

地域再生計画（整備交付金）事後評価調書

都道府県名	渋川市	事業実施主体	渋川市	地域再生計画名	渋川市地域再生計画「蛍の舞うまちづくり」（第2期）
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	渋川市水道部長、下水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	直近値			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率の向上	77.00%	H22	H25	82.41%	85.70%	H27	84.18%	○	汚水処理施設整備により概ね目標を達成できたと考える。
	指標2	地域河川環境の改善（全窒素）	7.5mg/l	H22	H25	7.1mg/l	1.5mg/l	H27	6.5mg/l	△	目標数値には届いていないが、改善されている経過が伺えるため、引き続き整備を進めていきたい。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H）	最終実績						
特別措置を適用して行う事業											
その他の事業	河川清掃の実施	河川清掃の実施				各自治会で年2～3回道路清掃にあわせ、河川清掃を実施している自治会がある。定期的に実施することにより、衛生環境が保たれるため、引き続き協力を依頼する予定である。					
	普及啓発活動の実施	普及啓発活動の実施				年に1回、市の広報誌に水洗化に関する記事を掲載するとともに、毎年、接続率の向上のため、整備完了後3年を経過している地区で、下水道接続がされていない世帯に戸別訪問している。					
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	所管課（下水道課）において目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。										
⑤事後評価の公表方法	渋川市のホームページに掲載する。										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、農業集落排水事業及び浄化槽設置事業を実施し、未整備地区等の整備を進めていたが、年度間調整を行うなど整備段階にあわせた予算措置が実施できたため、ほぼ計画通りの整備量となる見込みであり、安全・安心で快適な生活環境づくりができていると考える。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、ほぼ計画通りの整備が進捗している。地域河川の改善が目標値には届いていないこともあり、次期地域再生計画においても、引き続き汚水処理施設の整備を行い、水洗化の推進を進めていく予定である。次期地域再生計画では、農業集落排水事業の整備が完了する予定であり、浄化槽設置事業においても引き続き行っていくことから、前計画の内容精査し、今後の計画の適切な事業の実施に努めてまいりたい。										